

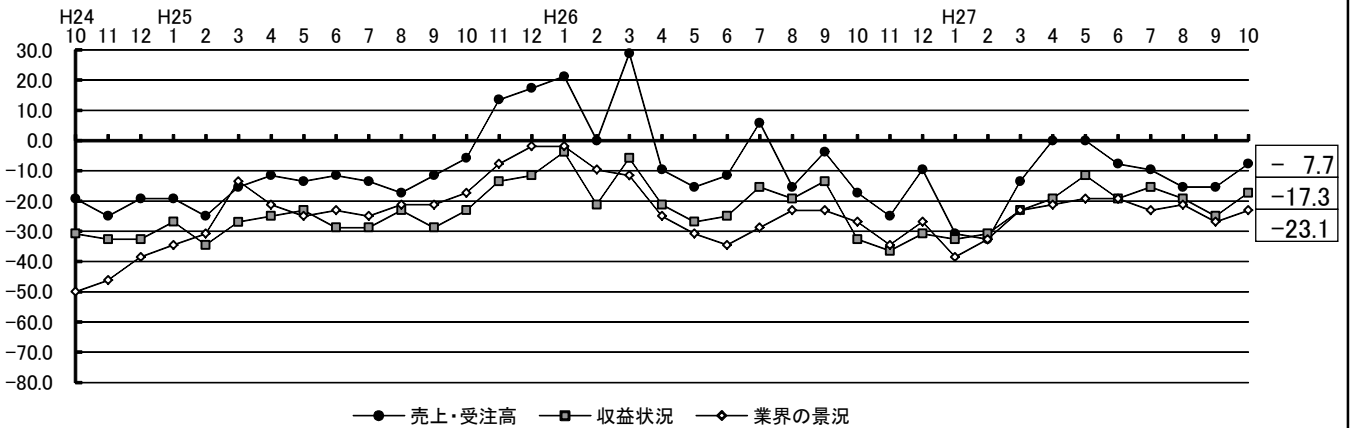
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成27年10月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」「業界の景況」の7指標が上昇し、「在庫数量」「設備操業度」の2指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が7.7ポイント上昇の-7.7ポイント、「収益状況」が7.7ポイント上昇の-17.3ポイント、「業界の景況」が3.8ポイント上昇の-23.1ポイントであった。
- 「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」が5ポイントを超えて大きく上昇し、「在庫数量」が10ポイントを超えて大幅に低下した。「在庫数量」「設備操業度」が2ヶ月連続で低下した。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-7.7	7.7	-10.9	9.0
収益状況	-17.3	7.7	-18.8	4.5
業界の景況	-23.1	3.8	-21.2	5.8

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より7.7ポイント上昇の-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より9.0ポイント上昇の-10.9ポイントとなった。

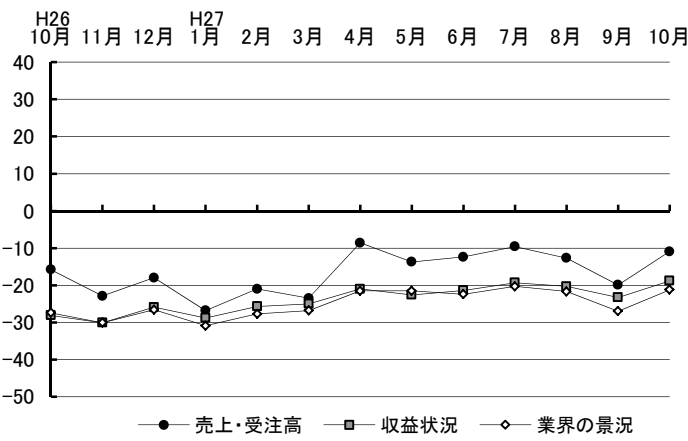
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.7ポイント上昇の-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より4.5ポイント上昇の-18.8ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.8ポイント上昇の-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より5.8ポイント上昇の-21.2ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「価格」「条件」「収益」「資金」「雇用」「景況」の7指標が上昇し、「在庫」「操業」の2指標が低下した。主要3指標は、「売上」が7.7ポイント上昇の-7.7ポイント、「収益」が7.7ポイント上昇の-17.3ポイント、「景況」が3.8ポイント上昇の-23.1ポイントであった。指標を個別に見ると、「売上」「条件」「収益」「資金」が5ポイントを超えて大きく上昇し、「在庫」が10ポイントを超えて大幅に低下した。「在庫」「操業」が2ヶ月連続で低下した。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、2業種が低下した。「収益」は製造業で4業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で2業種が上昇、2業種が低下した。「景況」は製造業で2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、3業種が低下した。

全国指標では、前月の前年同月比DI値と比べて8指標が上昇し、1指標が低下した。季節変化による恒常商品や行楽需要の増加が売上を押し上げた一方、経営全般のコスト高に伴う収益の圧縮は依然として継続しており、また中国経済の急激な失調に起因する外需減退も収束の兆しは見えず、引き続き中小企業の先行きは海外市場の動向も含めて注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	×	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	×	△	×
木材・木製品	△	×	△	△	△	△	△	△	×
印刷	×	△	×	△	×	△	△	△	×
窯業・土石	○	△	△	△	△	△	△	△	○
鉄鋼・金属	△	×	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	×	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	○	△	△	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転 (DI値 +40ポイント以上) △ 不変 × 減少・低下・悪化 (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	-75.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0
窯業・土石	50.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0
鉄鋼・金属	-25.0	-75.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	0.0	0.0
小計	-12.0	-28.0	0.0	-4.0	-24.0	-4.0	-20.0	-12.0	-24.0
卸売業	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	/	33.3	-33.3
小売業	0.0	-14.3	42.9	-14.3	-28.6	-14.3		14.3	-42.9
サービス業	-33.3		0.0	0.0	-33.3	0.0		-16.7	-33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	-3.7	0.0	14.8	0.0	-11.1	-3.7		3.7	-22.2
合計	-7.7	-20.0	7.7	-1.9	-17.3	-3.8		-20.0	-3.8

図表3～【指標別DI値の推移】

	H26			H27			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
売上高	-17.3	-25.0	-9.6	-30.8	-32.7	-13.5	0.0	0.0	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7
在庫数量	-2.9	8.6	-8.6	-14.3	-11.4	0.0	-8.6	5.7	-2.9	-8.6	0.0	-8.6	-20.0
販売価格	1.9	3.8	5.8	3.8	3.8	5.8	1.9	9.6	7.7	11.5	7.7	3.8	7.7
取引条件	-5.8	-11.5	-7.7	-11.5	-9.6	-3.8	-5.8	-9.6	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9
収益状況	-32.7	-36.5	-30.8	-32.7	-30.8	-23.1	-19.2	-11.5	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3
資金繰り	-11.5	-13.5	-15.4	-19.2	-11.5	-5.8	-7.7	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8
設備操業度	-8.0	-28.0	-16.0	-16.0	-36.0	-16.0	-24.0	-8.0	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0
雇用人員	-11.5	-3.8	-7.7	-19.2	-13.5	-17.3	-11.5	-13.5	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8
業界の景況	-26.9	-34.6	-26.9	-38.5	-32.7	-23.1	-21.2	-19.2	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	-25.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0
窯業・土石	25.0	-50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
鉄鋼・金属	0.0	-50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-50.0	0.0	25.0
小計	8.0	-20.0	0.0	0.0	16.0	8.0	-4.0	4.0	12.0
卸売業	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0		66.7	-33.3
小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	-14.3	14.3		0.0	-14.3
サービス業	-16.7		16.7	16.7	-16.7	16.7		0.0	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-20.0	40.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	0.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	7.4		10.0	7.4	11.1	0.0		7.4	3.7
合計	7.7	-11.4	3.9	5.8	7.7	7.7	-4.0	3.9	3.8

特記事項

情報連絡員報告（平成27年10月分）

所属組合	特記事項
味そ製造業	大豆の高騰が収益を圧迫している。資材も値が下がる傾向はなく、経営環境は厳しい状況が続いている。
酒類製造業	今年の酒の売上状況は、吟醸酒、純米酒等特定名称酒と呼ばれる少し高めのお酒の売上が伸び、普通酒の売上が大幅に減少している。このことにより、利益は少し増えているが、出荷数量は減少している。
外衣・シャツ製造業	秋物衣料の売れ行きは順調のようだ。
染色整理業	受注が減少している。
一般製材業	10月は9月より多少良くなったが、前年と比べるとマイナスとなった。11月及び12月は加工予定が多く入っており、非常に期待をして仕事に入っている。
建具製造業	昨年に比してかなり荷動きが悪いという話が多い。また、一部マンションでは工事の遅延が出ており、旭化成建材の杭工事の影響ではないかと取り沙汰されている。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格、原材料価格の上昇など厳しい経営環境に変わりはない。 印刷通販会社が伸びている分、印刷会社の売上が落ちており、大きな問題となっている。
碎石製造業	平成27年度上期（4～9月）の出荷量は7,479,421トンであり、昨年同期比で7.4%減少しているが、路盤用については堅調である。
陶磁器製造業	売上は9月より少し良かったが、昨年の10月と比べると同じであった。
金属製品製造業	当組合の組合員が2社脱会した。脱会の原因としては、1社が社員が少なく仕事に追われ組合事業に参加する時間がないため、もう1社が廃業である。 業況は、前月と変わらず自動車部品製造業はフル操業の状況である。
一般機械器具製造業	本年10月は、前年同時期と比較し、前月に引き続き売上高はやや減少傾向、仕入原価は上昇傾向が見られた。中国経済低迷の影響が出てきているのか、懸念材料がある。
一般機械器具製造業	新規受注、売上高は、受注活動を行っている中で少しずつ好転してきている。機械加工の設備操業度、稼働率が良いため、効率を上げるべく抜本的な対策を行い、徐々にではあるが効果が出てきている。 雇用人員に関しては、中途採用を行っている。従業員の平均年齢が高くなっていることから、技術の伝承を考えると早急に対策が必要であり、若い新入社員の雇用も含めて考えている。 製造業として独自性のある取り組みと新規設備機械の導入を検討し、対策を行っている状況である。
化粧品卸売業	思うように売上高が伸びない状況である。
各種商品卸売業	建設・建築関連資材（インテリア、住宅設備、建設資材等）の引合いがやや増えてきたが、依然として職人不足の状況を脱することができない状況下にある。 食料品製造・卸売業（海苔）では、主力商品であるギフト関連商品の低迷を脱することができない状況下にあるため、今後は女性や子供をターゲットにした商品販路開拓にも力を注ぎたい。 食品添加物卸売業では、円安による輸入品の値上げ対策に苦慮している。 安倍政権が掲げた「新三本の矢」の政策効果（特に名目GDP600兆円）を期待したいとした声が多かった。
食肉小売業	国産牛肉が高騰し、輸入牛肉も高い。国産豚肉は仕入値を少し下げたが、部分的に高値のまま。輸入豚肉も安くならないため、総体的に仕入が高く、利益が薄いので苦しい。

各種商品小売業	前月に続き低調な月であった。ただし、イベント等の開催に伴い、人出は多く賑わいはあり、飲食店等は良かったと聞いている。
各種商品小売業	例年10月に開催される特別招待会において、前年比117%の売上を獲得できたことで、全体でも107%と9月期に続く前年超えとなった。要因としては、催事売上が大きかったことが挙げられるが、部門別に見ても、ほぼ全業種において前年を超えており、年末行われる30周年セールへの期待も膨らむ。本番に向けて積極的に販促を仕掛けていきたい。
花・植木小売業	例年のとおり高冷地の産地が終わりを迎えてきているのと、中旬以降の冷え込みも影響し、暖地物も含め全体的に市場への入荷量は少なめでの推移となった。婚礼はブライダルシーズンということもあり、引き合いが強かったが、小売の動きは鈍く苦戦した。
理容業	高齢による廃業以外の脱退者が減少している。
自動車整備業	売上高は前年割れの状況が続いている。各組合員も頭を悩ませているところだ。
ビルメンテナンス業	豪雨災害に伴う片付け業務が発生し、廃棄物処理の受注が増加した。
給食センター	平成27年3月末で不採算部門の撤退があり、売上高は前年同月比で大幅な減少となった。食材の価格値上げ等はあるが、不採算部門の撤退・新調理法で製造した弁当の拡販・コストダウン等により、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	10月の景況は、先月の台風18号の風評被害的要因もあり、前年比で若干減少した。一方で、紅葉のお客様の動向は例年並といったところだ。11月に期待したい。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは31%減、敷物用ラベルは79%増、壁装用ラベルは25%減であった。4～10月累計では、カーテン用ラベルは18%増、敷物用ラベルは42%増、壁装用ラベルは11%増であった。 ラベルの支給金額の前年同月比は31%減、4～10月累計では16%増であった。住宅着工戸数は、全国的に消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が薄れ、持ち直していると思われるが、栃木県では4%程減少している。
一般貨物自動車運送業	ドライバー不足、拘束時間規制強化などの状況下、企業間格差が出ており、全体的に厳しい環境である。燃料価格は当月も値下がり傾向を示した。
貨物軽自動車運送業	昨年同月期と比べ、自動車、電機、食料品、住宅資材等の一般貨物の受注についてはバラつきが見られ、物流を総体的に見ると若干落ち込んでいる。決して景況感は良くなっていない。 加えて、相変わらず高齢化とドライバー不足に悩まされている。 中国や米国経済の動向が気になる。
一般乗用旅客自動車運送業	イベント等数多く来訪者の利用があり、若干好転した。
大谷石採石業	前年同月比較では多少増減はあるが、全体としては平年並。